

第56回初級ゴム技術研修会のご案内

一般財団法人化学物質評価研究機構・一般社団法人日本ゴム協会関東支部 共催

第56回初級ゴム技術研修会を開催いたします。本研修会は、経験豊かな一流のゴム技術者である先生方の講義に加えて、受講生が実際にゴムを扱う技術実習を組み合わせたユニークな内容となっております。これまで新人ゴム技術者や営業部門、製造部門、研究・開発ご担当者など幅広い業種の方々に受講いただきました。皆様の参加をお待ちしております。

※状況により予定変更がある場合は、お申しいただいた方へ個別にお知らせいたします。

- 研修期間** 【講義】：2025年5月12日（月）から6月2日（月）まで
毎週 月、水、金の3日 14時00分～17時00分
【実習】：2025年6月10日（火）から6月13日（金）まで
4日間連続での開催 10時00分～17時15分
- 会場** 【講義】一般財団法人化学物質評価研究機構 東京事業所及びリモート配信のハイブリッド
【実習】一般財団法人化学物質評価研究機構 東京事業所
- 募集人数** 40名
- 受講料** 176,000円(消費税込)
ただし、受講者本人が日本ゴム協会会員である場合は、159,500円(消費税込)
- 申込期間** 2025年1月中旬～4月30日
- 申込方法** 申込フォームを当機構ホームページ <https://www.cerij.or.jp> に1月中旬より掲載予定です。アクセスできない場合は所定の申込書に必要事項を記入の上、メール又はFAXでお送り下さい。請求書をお送りいたしますので、受講料を次の振込先にご入金下さい。
- 振込先** みずほ銀行 押上支店 普通預金口座 No.533129
口座名義人 一般財団法人化学物質評価研究機構
- 申込先** 〒345-0043
埼玉県北葛飾郡杉戸町下高野1600番地
一般財団法人化学物質評価研究機構 東京事業所 初級ゴム技術研修会係
TEL 0480(37)2601 FAX 0480(37)2521
E-mail ceri-kanribu@ceri.jp
- その他** 基礎テキストとして「新版 ゴム技術の基礎」(日本ゴム協会編)を無料にて配布いたします。また、実習時には「ゴム加工試験」、「ゴム物性試験」、「ゴム分析試験」のテキストを配布いたします。
- 講義のみの受講はできません。講義と実習のセットのみのご案内となります。
申込書及び請求書等は、ご連絡いただければメール等で送付いたします。

以上

第56回初級ゴム技術研修会日程表（案）

月 日		科目	講 師
5月12日	(月)	原料ゴム	伊藤眞義（東京理科大学）
14日	(水)	配合剤(補強剤, 充填剤など)	鹿久保隆志（横浜ゴム）
16日	(金)	配合剤(有機薬品, その他)	小松智幸（大内新興化学工業）
19日	(月)	ラテックスの加工操作	高井淳（住友ゴム工業）
21日	(水)	配合設計（目的、用途に応じた配合設計のたて方）	菊池裕（興国インテック）
23日	(金)	ゴムの成形加工（オープンロール、ニードル、加硫など）	近藤寛朗（化学物質評価研究機構）
26日	(月)	ゴムの基本特性（ゴム弾性など）	齊藤貴之（化学物質評価研究機構）
28日	(水)	ゴム試験法Ⅰ（物性試験） （硬さ、引張、老化、浸せき、JIS規定のない試験）	狩野真貴子（化学物質評価研究機構） 伊東寛文（化学物質評価研究機構）
30日	(金)	ゴム試験法Ⅱ（化学分析試験）	町田悟史（化学物質評価研究機構）
6月 2日	(月)	ゴム・プラスチックの劣化と事故原因調査手法	岩瀬由佳（化学物質評価研究機構）
6月10日	(火)	ゴムの成形加工、物性試験及び化学分析の実習 1-1 ゴムの配合設計 1-2 ゴムの成形加工 1-3 未加硫ゴムの物性	化学物質評価研究機構職員
11日	(水)	2-1 加硫ゴムの物性 2-2 ウェザー・オゾン試験 2-3 老化試験、浸せき試験 3-1 反発弾性試験、低温試験	
12日	(木)	3-2 電気試験、燃焼試験 3-3 材質鑑別 4-1 配合組成分析 4-2 配合剤、添加剤の分析	
13日	(金)	4-3 機器分析 （FT-IR、SEM、EPMA 等々） 最終日の実習終了後に 修了証書授与式及び懇親会を実施予定	

(注) 講義及び実習について日程、科目、講師等の変更がある場合もありますので、あらかじめご了承ください。